

さくらさくらんぼ保育実践園で行っている 職員向け歯並び・噛み合わせ報告会

宮崎市 ひまわり矯正小児歯科医院

院長 柿崎陽介先生



数年前「〇〇くんの前歯が気になるとお母さんが言われているのですがどうでしょう？好き嫌いが多くて給食にも時間がかかります」という園児に関するご相談がありました。口の中を見せてもらおうと前歯が噛み合っていない状況でした。

当院では、宮崎市内のさくらさくらんぼ保育実践園（斎藤公子メソッド実施園）2園に歯科健診とは別に年に4回程度ブラッシング指導のための訪問を行なっています。

この保育園は子どもたちの全面発達を掲げて身体の育ちを重視し、全身の機能を高める運動、感覚神経系を育てることを実践されています。また給食に関しても食材や食べ方に工夫がなされており口の成長発達についてもいい発達が期待できます。

しかし中には歯並び噛み合わせに問題があり不正咬合となっている園児もいるようでした。そこで、長崎の取り組み（池田靖子先生、石木尚子先生ら）を参考に2園の年少、年中、年長園児の口腔内写真を記録させていただき、その成長変化について検討し職員さん向けに説明会を行なっています。

園児一人一人についてむし歯の状況だけでなく、形態や機能の状況について報告し、クラス担任の先生からは日常生活や家庭環境の情報を伺いながら意見交換をおこなっています。担任の先生方は、口の中を見たり考えたりする機会は少ないので、とても熱心に聴いてくださいます。

今回は、この職員向け歯並び・噛み合わせ報告会についてご報告いたします。

